

3 課題を抱える青少年を支援する体験活動事業
 ア 課題を抱える青少年を支援する体験活動事業



「生活・自立支援キャンプⅡ」(ひとり親家庭の子ども支援事業)
 わくわくチャレンジキャンプ(長崎)

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家
 〔協力〕 県立諫早東高等学校、諫早乗馬クラブ、おおむら夢ファームシュシュ
 〔期日〕 令和5年10月7日(土)10:00 ~ 9日(月・祝)14:00 【2泊3日】
 〔会場〕 国立諫早青少年自然の家、白木峰高原、諫早乗馬クラブ、おおむら夢ファームシュシュ
 〔参加者〕 就学前～高校生(男性16名、女性11名)、父親(2名)、母親(3名)、兄姉(男性1名、女性1名)
 〔担当職員〕 西田 尚由、中里 文彦

1)趣旨

ひとり親家庭の子供たちが共同宿泊生活体験を通して、「早寝早起き朝ごはん」や「調理・裁縫」といった基本的な生活習慣の定着を図る。また、諫早自然の家の周辺(白木峰高原)で感じることができる自然の美しさを味わう。さらに、干拓の里を訪れ、動物と触れ合う体験を通して、自然の大きな仕組みや生命の大切さを感じ取る。

2)SDGsで目指す姿

 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>12 つくる責任つかう責任</p>	<p>目標4 質の高い教育をみんなに 動物と触れ合う体験を通して、自然の大きな仕組みや生命の大切さを感じ取る。 目標12 つくる責任つかう責任 エコバックを作成することで、レジ袋の使用を削減し、環境保全への意識を高める。</p>
--	--	---

3)目標

- ①自分のことは自分でがんばる。
- ②参加者全員で楽しむ。
- ③調理や裁縫等の生活スキルを身につける。

4)プログラム

1日目	2日目	3日目
送迎 10:00 開会式 10:15 はじまりの会【写真①】 ・自己紹介等 11:00 ハイキング【写真②】 (白木峰高原) 12:00 昼食(弁当) ・昼食後、班ごとに散策 14:00 移動開始(自然の家へ)	6:30 起床 7:15 朝のつどい 7:30 本館へ移動 7:45 朝食(レストラン) 9:00 移動(諫早乗馬クラブへ) 9:30 諫早乗馬クラブ到着 ・馬房見学等 【写真⑤⑥】 11:00 移動(自然の家へ) 11:30 室内レク	6:30 起床・荷物整理・部屋清掃 7:15 朝のつどい 7:30 本館へ移動 7:45 朝食(レストラン) 9:00 移動(シュシュへ) 10:00 シュシュ到着 ・手作りウイナー教室 【写真⑨⑩】 11:45 昼食(シュシュ内レストラン) 13:00 全体の振り返り

1日目	2日目	3日目
16:00 野外炊事(夕食) 【写真③④】 19:30 入浴、就寝準備 20:30 一日の振り返り 21:00 就寝	12:00 昼食(自然の家) 13:00 裁縫体験 ・エコバック作成 【写真⑦⑧】 16:00 野外炊事(夕食) 19:30 入浴、就寝準備 20:30 一日の振り返り 21:00 就寝	13:30 閉会式 送迎

5)事業展開

①始まりの会



参加者同士が自己紹介を行い、ゲーム等で仲間づくりを行った。
 学年、性別に関係なく、みんなで楽しく活動した。

②ハイキング・昼食(白木峰高原)



白木峰高原へ移動し昼食をとった。昼食後はグループごとに散策を行った。
 コスモス畑や諫早湾の眺望等、自然を満喫した。

③④野外炊事(1日目:カレー 2日目:パン・シチュー)



夕食は両日とも野外炊飯を実施し、各班で協力しながら薪割りや調理を行った。
 年少者も多かったが、年長者が優しく面倒を見ながら活動することで、仲も深まった。
 調理の際、一般家庭での実態を踏まえてピーラーを準備、使用することで、家庭での生活スキルの向上を図った。

⑤⑥馬房見学(諫早乗馬クラブ)



当初、乗馬体験を計画していたが、雨天だったため、諫早乗馬クラブと相談し、馬房見学や馬とのふれあい、蹄鉄打ちの見学を行った。
 馬の大きさに驚き、初めは怖がってる様子もあったが、次第に慣れてきて、実際に手で触れることができたようになった。

⑦⑧エコバック作成



諫早東高校よりミシンを借用し、エコバックを作成した。ミシンで縫った後、アイロンプリントで飾り付けることで、各自が唯一無二のバックを作り上げた。
 初めての作業に戸惑いながらも、お互いに協力しながら自分の分は自分で縫い上げることができた。

⑨⑩手作りウインナー教室



おおむら夢ファームシュシュのプログラム「手作りウインナー教室」を実施した。

作業自体は単純だったが、初めてのことばかりだったため、全員が興味を持って、楽しく活動した。

作ったウインナーは一度ボイルしてもらい、お土産として家庭に持ち帰った。

6) 評価

① アンケート結果(事業全体に対する満足度)

満足	やや満足	やや不満	不満
85%	15%	0%	0%

② 参加者の声

- ・ 楽しいこともたくさんあったが、歩きすぎて疲れるところもあった。
- ・ 野外炊事で自分たちでご飯を作れたのがよかった。また、シュシュのバイキングがおいしかった。
- ・ 馬と触れ合うことができ、楽しい思い出ができた。
- ・ ミシンを使ったことはなかったけど最後までエコバックを作ることができたのでうれしかった。
- ・ 年齢が下の子から上の子まで全員と一緒に協力して活動ができてよかった。
- ・ 一人一人が自分のやりたいことだけではなく、協力しあって活動できたのでとてもうれしかった。
- ・ 友だちと会うのが楽しかった。
- ・ 3日間、全力で楽しみ、満足できた。
- ・ 人に頼らないで、自分でできることを増やしていきたい。家でも昼ごはんなどを作りたい。
- ・ 年長の子どもたちが小さい子をリードしてくれて助かった。この経験を自分の子が年少の子にしていけるような子どもになって欲しいと思った。
- ・ 子どものいつも見えない友だちとの関わり方などが見れてよかった。また、毎日の家事から解放され、ゆっくりと睡眠がとれて助かった。家のことを忘れて子どもたちと楽しむことができた。

7) 成果と課題

① 成果

- ・ 参加者の年齢の幅が大きかったが、年長者が年少者の面倒をよく見ながら上手にリードすることができ、大きなトラブルも無く、滞りなく活動を進めることができた。
- ・ 家族で参加した人と個人で参加した人が孤立したりすることなく、全員で協力したり声をかけ合ったりしながら、和やかな雰囲気でも過ごすことができた。
- ・ 調理や裁縫に興味を持って活動し、全員がある程度のスキルを身につけることができた。
- ・ 雨の影響で乗馬体験ができず残念ではあったが、乗馬クラブの方々のご協力で、馬房見学等の活動に振替えることができ、その活動も参加者には好評だった。

② 課題

- ・ 別館宿泊では他団体を気にせず活動できる利点はあるが、移動が多く、年少者の対応が難しかった。
- ・ 今回は法人ボランティアの参加が無く、スタッフが少なかったため参加者対応が手薄だった。